

共謀罪反対の活動への参加報告

11月12月に合計6回上京して、共謀罪に反対する院内集会、国会前の行動に参加してきました。短期間にこんなに活動したのは何年ぶりだろうか(多分10年ぶり)——と自分でも思います。それほど緊迫した世の中になったということだと思います。

ニュース33-2号で報告したように、全大教図書館職員部の会議(11月18日(土))の1日前に日弁連の共謀罪に反対する院内集会に参加したことがキッカケです。院内集会の内容も危機感に満ちていましたが、国会周辺が教基法改悪とあわせてとても緊迫していることに驚きました。ここで、10月下旬に新聞各紙が伝えた「共謀罪創設、今国会成立断念」が誤報であることを知らされました。寝ている間に大変な世の中になっていたんだ。

この時、この10年間眠っていた私の闘争心は、瞬間解凍されました。



日弁連の院内集会

11月17日(金) 国会前の大勢の座り込みに、まずびっくり！院内集会では、共謀罪反対の運動の中心人物の民主党の平岡野党筆頭理事、社民党の保坂議員、海渡弁護士から情勢報告がありました。政府の画策する共謀罪死んだフリ作戦ももちろんですが、安倍内閣による露骨なマスコミ操作が糾弾されました。共謀罪を審議した国連のアドホック会議の情報を開示請求しても黒塗りの資料しか出さない政府の露骨な情報隠しの実態が、吉峯弁護士から満身の怒りを込めて報告されたのには、本当にビックリ。

院内集会の後、夕方まで、国会前の座り込みに参加しました。時々、集会をやって、発言、報告があり、シュプレヒコールでしめくくる、それからまた暫く座り込み——という調子でした。この日は、衆院本会議の教基法改悪強行採決の翌日だったので、座り込みは共謀罪反対だけではなく、教基法改悪の座り込みも大勢いました。15時過ぎ、全労連のデモがきました。全大教の旗もありました。

久しぶりに元気の出る活動に参加して、何年かぶりに生き返りました。しかし、その日以来、共謀罪をめぐる動向が心配で落ち着いておられなくなりました。17日に知り合った人たちに電話して情勢を聞きながら、もう一度上京しようか迷っていました。そうして、11日後に行くことにしました。

11月28日(火) 12時から盗聴法に反対する市民連絡会の11・28緊急議面集会に参加しました。与党の死んだフリ作戦が効いて、今までに比べて集まりが悪いそうで、前日名古屋から集会について問い合わせがあった——と紹介されてしまったので、「図書館の自由」について紹介して「利用者の知的自由を保障する図書館人は共謀罪に反対する」と発言してきました。それがキッカケで、共謀罪ブログ(<http://wave.ap.teacup.com/kyobozai/>)をやっている若いジャーナリストと知り合いになりました。

その後、夕方まで、国会前の共謀罪反対の座り込みに参加しました。そのあと、18時過ぎに、教育基本法の改悪をとめよう全国連絡会が、300名近くを動員してきて、国会前で集会を始めました。集会後、国会へ向けてシュプレヒコール、首相官邸前へ移動し、官邸めがけてシュプレヒコールで終わりました。その後、渋谷からも全国連絡会のデモ隊が来るのでそれと合流する予定と聞きましたが、既に20時を回っていたのでここまでで帰りました。



国会前座り込み

12月4日(月) 17時から日弁連の共謀罪に反対する緊急院内集会に参加しました。法務委員会理事会で、共謀罪の審議入りを要求する与党理事が、最初は1人、日を追うごとに増えてきて最後は与党理事全員で大合唱になった——と保坂議員から報告されました。やっぱり与党は共謀罪を断念なんかしてなかったんだ、死んだフリだったんだ。集会は19時で終了。

12月8日(金) 院内集会はなし。終日座り込みに参加しました。夕方、日教組の教基法改悪反対の集会が日比谷公園で行なわれ、全国から12,000

人集まりました。集会終了後国会までデモ行進してきたので、シュプレヒコールしながらエールを送りました。12,000人のデモは全員到着するまで2時間半くらいかかり、大変な熱気で、この時はみんなこれなら勝てるんじゃないかという気がしました。でも、後で落ち着いてよく考えれば、残念ながら夜なんですよ、国会開会中じゃないんですね。しかも、安倍政権にコントロールされた今のマスコミは、これを無視する恐れがある。案の定翌朝の新聞は見事に黙殺。集会に来ていたある学生が云っていましたが、なかなか国会の内と外が1本につながらないんですよ。

12月15日(金) 参院特別委で教基法改悪案が強行採決された翌日。12:30からの「12・15 共謀罪の新設に反対する市民と表現者の院内集会」も共謀罪どころではなく、教基法の本会議強行採決阻止に向けた話へそれてしまいます。社共が出した問責決議案に民主党が賛成しなかったことへの怒りの声が上がリ、主催者が抑える場面がありました。共謀罪に関しては、民主党に反対を貫いてもらうため、今後も平岡野党筆頭理事には頑張ってもらうため、内輪もめはやめよう—というわけです。

院内集会のあと、国会前の座り込みに参加しましたが、夕方に向けてどんどん人が集まってきます。この日も18時から全国連絡会が集会を予定していましたので、その動員かと思うそうではないんです。黙っていてはやばいと思って自発的に来る人たちです。組織的動員ばかりじゃないんです。私みたいにね。座り込みは、日教組、全教、リレーハンスト、新左翼とそれぞれ別々にやっていますが、全国連絡会がくるとみんな一緒になってやるからたいしたもんです。全国連絡会がこれから集会を始めるぞ—というところで、本会議で強行採決のニュースが入り、強行採決糾弾の集会になりました。

12月19日(火) 10:40 過ぎに国会前に着いたら、人が溢れていた前週までとはうって変わって少人数で、共謀罪反対の団体だけで集まって何やら相談しています。たった3分間の法務委員会で継続審議が決まったそうです。国会前でビラまきと総括集会をしてから、市民連絡会の「12・19 共謀罪の新設に反対する市民と表現者の院内集会」に参加しました。この日は、皆ちょっと明るい顔でした。共謀罪は審議入りすら許さなかったことは、違憲の悪法が次々成立した今国会の「唯一の吉報」(保坂議員のブログ)です。継続審議にはなりましたが、次期通常国会は、統一地方選挙と参院選を控えているので敵は強行はやりにくいはずですよ。しかし油断せず気を引き締めて廃案まで頑張りましょう—ということで院内集会は終わりました。

皆さん、私はどうして6回も出かけたと思いますか？4回は自費でこのためにだけに出かけました。どうしてそうまでもするんだと思いますか？暇な奴だ！—と思いますか？

共謀罪は恐ろしい治安立法です。話し合っただけで罪になります。619もの罪名があります。私だけじゃなくて、皆さんだって反対でしょう。しかし、反対意見を持っても何も行動しなかったら賛成と同じことなんです。国家権力による抑圧に対しては、反対し闘争することが、思想信条の自由を守ることです。かつて、私と同じ名前の中曽根は「改憲論を主張する自由もあっていい」と云いましたが、そんなものは言論の自由ではありません。ナチス独裁下で「ヒトラー万歳」を云うことができたこと、これは言論の自由ですか？

教基法改悪も、防衛省昇格も成立しました。日本は、どんどん戦争国家へと向かっています。そんなの反対でしょう。黙っただけでは、止められません。行動しましょう。今なら止められます。

小泉政権の後半から既に始まっていたのですが、ひどい世の中になってきているのです。皆さん、最近のニュースを見ていて、何か変だと感じませんか？毎日のトップニュースが、殺人事件だったり、北朝鮮制裁のニュースだったり、国政の最重要ニュースをなかなか流しません。教育基本法改悪のニュースなんて本当に少ししかやりませんでした。これも、安倍のマスコミ・コントロールの1つでしょう。今回、ニュースで「強行採決」と云わないで「与党単独採決」と云っているのは、安倍のマスコミへの露骨な圧力という話です。

どうして、国会前で座り込みなんかするんでしょうか？政府与党は、国会前の座り込みをとっても嫌がっています。市民の反対する声がいやでも耳に入ります。タウンミーティングのやらせを追及された仕返しなのか、私たちの座り込みを「やらせだ」と罵っています。それだけ、市民の反対の声を恐れているのです。そして、国会前での座り込みは、議会で反対している少数野党議員への強力な支持、連帯感になるんです。

上京するのは難しいけど、名古屋でも何かやりませんか？年が開けたら、ともに行動しましょう。

図書職員部会 情報言語系支部 石田康博



国会前集会